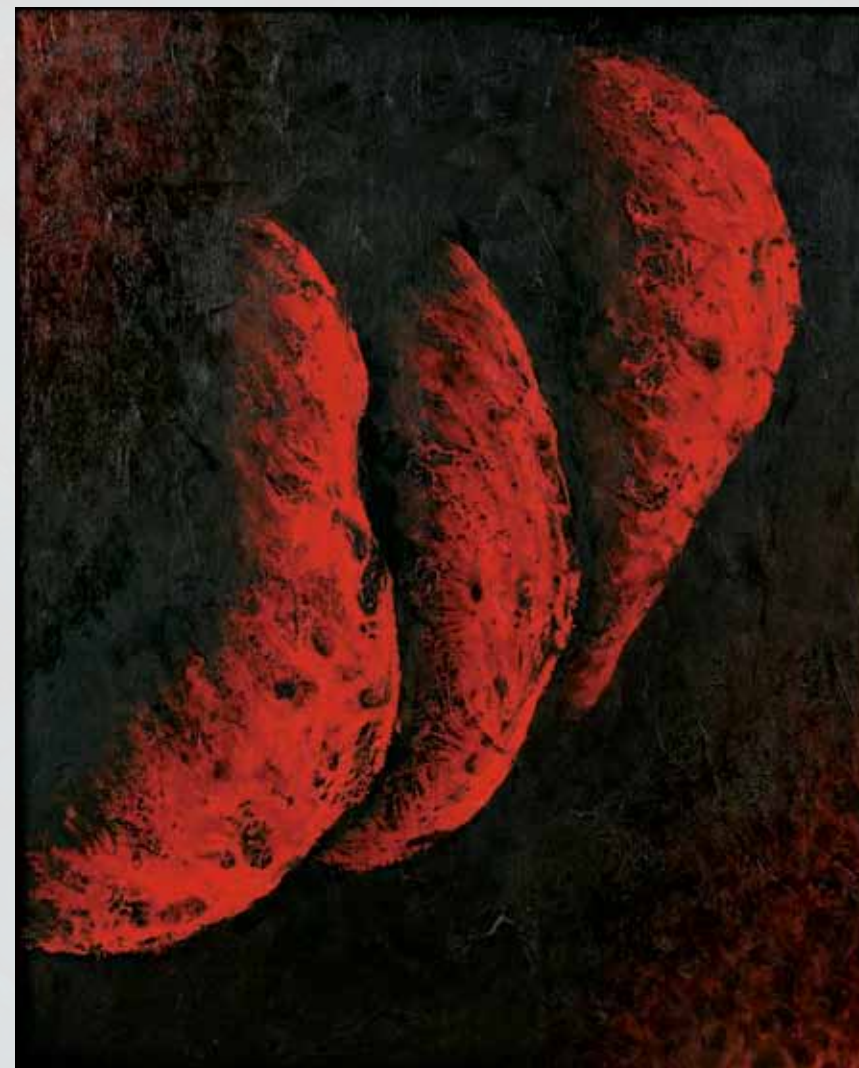


浮遊するオモイ
72.7 x 60.6 cm
ミクストメディア 板 / 2017



洋画家 平井知行

それぞれのオモイに呼応する絵画

鑑

賞者の心に訴えかけるような作品を生み出す洋画家・平井知行。暗い背景にぼんやりと浮かぶ人間の臓器のような物体の正体はわからない。掲出した『浮遊するオモイ』は、長年描き続けている彼の代表的なシリーズで、私たちが日々抱えているオモイに寄り添うような作品群だ。精神的なテーマを扱う彼の歩みを紹介しよう。

鳥取で公務員として働きながら、仕事とは別に熱中して取り組めるものを探していた平井。絵を描き始める前、アマチュアの劇団に所属して芝居に打ち込んでいた。演じるだけではなく、演出もおこない、羽柴秀吉による鳥取城の兵糧攻めを題材にした芝居を上演するなど10年近く活動。舞台を作り上げる達成感を味わったが、アマチュア劇団ゆえに団員の



浮遊するオモイ
72.7 x 60.6 cm
ミクストメディア 板
2013